

## 2023年度 JST さくらサイエンスプログラム受け入れ報告

勝又 美穂子

グローバルD&amp;I推進室 准教授

2023年11月23日（木）～12月13日（水）の21日間、JST さくらサイエンスプログラムにより海外の学生及び研究者5名を当研究所に受け入れました。今回はマラヤ大学から2名の学生、インド工科大学ハイデラバードから1名の学生、そしてベトナム科学技術アカデミーから2名の若手研究者を受け入れました。接合研では、伊藤研究室、阿部研究室、田中研究室が受け入れ、指導及び協働研究を行いました。

各参加者は事前に受け入れ研究室の指導教員と連絡を取り、当研究所滞在中に実施する組織観察や実験に向け、サンプルの準備などを行った上で渡航しました。

活動開始初日はオリエンテーションを開催し、滞在中のスケジュール確認や参加者へ学食の紹介などを行いました。また別日には受け入れ研究室の活動や研究紹介、そして当研究所の設備紹介に参加頂きました。設備は、FSW機、レーザーアデ

ィティブマニュファクチャリングに関する機材、組織観察関係の機材等を見学しました。

三週間の滞在中は、それぞれの研究室で研究スケジュールを計画頂き、適宜実験や分析などを行いました。研究室によっては、同じ内容の研究を行っている本学学生とペアで実験を進めるなど、さくらサイエンスプログラムの受け入れを通して本学学生も海外学生や研究者との交流を深めることが出来ました。

滞在最終日となった12月12日（火）には、参加者5名より、滞在中に行った研究活動のまとめと得られた成果についての合同最終報告会を開催しました。受け入れ研究室の教員や学生、職員も参加し、研究成果を聴きました。参加者からは、今回の滞在により、研究に対する見方が大きく変化したことや、今後、博士課程へ進学して取り組みたい研究課題も見つけることができたなどのコメントがありました。



さくらサイエンスプログラム最終報告会を終えて